

[グプタ朝とインドの古典文化]

4世紀…**チャンドラグプタ1世**はガンジス川流域に**グプタ朝**を建てる。
→インダス川流域まで征服し、北インドを統一

グプタ朝 建国：チャンドラグプタ1世 都：パータリプトラ

4世紀…チャンドラグプタ1世により建てられる。

4世紀半ば…2代サムドラグプタの征服事業。

4世紀末…**チャンドラグプタ2世**(超日王)のとき全盛期。

- ・グプタ朝の最大領域を現出。
- ・東晋の僧：**法顕**が陸路で来訪し海路で帰る。後に『**仏国記**』を著す。
- ・純インドの文化が栄える。

⇒6世紀半ば…遊牧民族**エフタル**の侵入でグプタ朝は滅びる。

〈グプタ朝時代の文化〉

ヒンドゥー教…バラモン教が土着の宗教と結びついて成立した宗教。

シヴァ神(破壊の神)、ヴィシュヌ神(世界維持の神)などを中心とする多神教。

→ヒンドゥー教のもとで人々が生きる規範が『**マヌ法典**』まとめられた。

→7世紀頃…シヴァ神やヴィシュヌ神に絶対的な帰依を表す**バクティ運動**が南インドから広がる。

⇒14世紀頃…バクティ運動が北インドにも波及していき**シク教**の成立に影響

仏教…無着、世親らが大乘仏教を研究。

ナーランダー僧院を中心に研究が進められる。

- ・**アジャンター石窟寺院**…グプタ様式の壁画が残されたインド東部の寺院。
- ・エローラ石窟…断崖に掘られた仏教、ヒンドゥー教、ジャイナ教の寺院。

カーリダーサ…『**シャクンタラー**』：マハーバーラタをもとに書かれた
サンスクリット文学の最高峰。

ゼロの概念…グプタ朝で発明され、西アジアを経てヨーロッパに伝わった。